

コロナ禍における情報発信の重要性

雨宮: 成田市は世界に冠たる国際空港を有するまちですが、それだけに、**コロナ**や**サル痘**などウイルスに脅かされやすい地であるという問題も内包しています。

市長: なるほど。コロナは本当に厄介ですよ。普通の風邪だと思ったら大間違いで、感染すると若い方も命を落とすこともありますからね。しっかりと病院と連携する事が重要です。成田市は日本の玄関口ですから、すでに特別な連携をされているのではないのですか。

雨宮: 成田市はコロナ関連で比較的耳目が集まっていますが、**普通市なため「保健所」がなく支所があるだけ**です。全国他市に比べコロナのリスクが圧倒的に高いのに…です。広範囲な案件を取り扱う「保健所」は、常に手一杯でありコロナ関連で十分に機能しているとはいえません。**成田市は迅速な検疫体制の強化と、感染症対策の医療連携をしっかりと構築するのが急務だと考えています。**那須塩原市のコロナ禍における対策はいかがですか。

市長: 空港都市ならではの悩みですよ！雨宮さんに改善してほしいな。那須塩原市で私がいち早く感じたのは、「市民がコロナで怖い思いをしている」という

ことでした。得体の知れないコロナ、欲しい情報が自分たちに入ってこない不安がいっぱいでした。そこで、「**みるメール**」という**情報発信メール**を始めたのです。でも、**こういう情報はいち早く送らないと意味がない**。ということで改善し、今や、私の耳に入る前に情報発信しているくらい早いですよ。(笑)でも、この辺りは、雨宮さんの得意分野ですね！

雨宮: 市民の不安をいち早く感じるあたりが、さすが渡辺市長ですね！私は以前より市政における情報発信やDX化が重要であると考え活動してきましたが、このコロナ禍でより一層その考えが強くなりました。今はコロナだけドサル痘のリスクも高まっているし、今後、新たな感染症が現れる可能性も高いです。先程「責任ある観光」の話をしました、**国際空港を有するまちとして、「責任ある空港管理」が不可欠**だと思います。**「危機に強いリーダー」**を目指し邁進します。

市長: 危機に強いリーダーは、成田市のみならず、全ての自治体リーダーに求められる条件であり、情報発信力はとても重要です。雨宮さんの本領発揮ですね！

雨宮: はい！頑張ります。本日は大変貴重なお時間をありがとうございました！

市長: 本当に楽しかったです！次は同じ立場で語り合いましょう！ご期待しています！



世代交代を！

プロフィール

1978年10月31日生まれ(43歳)
0歳からの成田っ子
高校時代ニュージーランドに1年留学
明治大学大学院(修士)
子ども2人・犬2匹
日本サーフィン連盟公認インストラクター
28歳から成田市議会議員(4期15年間)

役職

第41代成田市議会議員
成田商工会議所青年部 会長
成田市立吾妻中学校PTA 会長
成田市PTA連絡協議会 理事
印旛管内市議会正副議長連絡協議会 会長
成田空港周辺市町議会連絡協議会 相談役
千葉県北総地区市議会正副議長会 会長
関東若手市議会議員の会 会長
成田青年会議所 OB
自民党成田市支部 青年部長
※歴任含む

那須塩原市長

渡辺 美知太郎

39歳

参議院議員(1期)を経て2019年から栃木県那須塩原市長。伯父は旧みんなの党代表の渡辺喜美氏、祖父は元副総理の渡辺美智雄氏。趣味は、美術館めぐり。座右の銘は「温故知新」。

第41代 成田市議会議員

雨宮 しんご

43歳

2022年8月、同年12月の成田市長選挙への立候補を表明。28歳から成田市議会議員(4期15年間)。座右の銘は「義を見て為ざるは勇なきなり」。

「危機管理に強いリーダーを！」



8月19日、栃木県那須塩原市役所にて渡辺美知太郎市長と対談を行って来ました。那須塩原市と成田市の共通する「観光」や、近年の「コロナ対策」の問題などについて、旧交を温めながらの活発な議論となりました。

青年市長 × 情報発信

※対談はコロナ対策を十分に対策した上で行ってまいります。